

法親寺新聞



2020年 特別号
手書き新聞 No.43

こんにちは。釋 紗音です。

最近はSNSで簡単に顔も知らない他人のコメントや、やりとりを見ることができます。芸能人が亡くなると、毎回その人のTwitter、Instagram、YouTubeなどの投稿に、何万件ものコメントが書き込まれます。

「どうして死んでしまったのですか?」「きっと幸せになっていますよね?」「また会えるか分からぬいけど、会えたら飲もう!」「しっかり休んで下さい」「ご冥福をお祈りします」など…内容は様々です。

「ファンじゃなかったけど、亡くなつてからあなたの事が頭から離れません」という方も。

人の死は、会ったことのない他人にさえも、大きな影響を与えます。

コメントを読むと、亡くなった方への追悼より、亡くなつた事を受け止められない殘念に思う内容が目立ちます。もう本人がいない中、伝える術はないけれど、どこにもぶつけられない悲しみを書き込んだり、同じ気持ちの書き込みに安心するかもしれません。

実は、亡くなった本人より、ずっと後に引いて前に進めないのは死を受け止められない遺された方なのです。そこに葬儀や法事の重要性があります。

いつも一緒にいる存在のときは当たり前に生活していても、いなくなると罪悪感と後悔ばかりが残るものです。

良くあるキャッチフレーズに「悲しみを乗り越えよう」「悲しみを乗り越える方法」とあります。本当に悲しみは乗り越える事ができるのでしょうか。

乗り越えるのではなく、考え方や受け止め方を変えて、「悲しみ」と上手く付き合っていく様になるのだと私は思いました。大切な方を亡くした悲しみを忘れる必要はなく、むしろ、「どうしているのかな?」「どこにいるんだろう?」という疑問が、今度は生きている遺された方の人生の不安や疑問を解決してくれます。

いつ訪れるか分からぬい死を考えるのは、暗い事でも、縁起の悪い事でもありません。

人間は後悔してしまう生き生物ですが、生きている今から仏教に関わっている事は、自分にとっても良い事ばかりです。同じ状況でも、目線を変えることで考え方や受け止め方が変わり、気持ちも楽になります。

淨土真宗は阿弥陀様一筋です。占いや祈祷に頼る必要もありません。

もちろん他の宗派のお寺や神社、教会にお参りに行くのは悪い事ではありませんが、常に「あなたを見捨てないよ」「必ず淨土に生まれさせ、仏にするからね」と願いをかけてくださっている阿弥陀様と一緒に者の安らぎの人生であることを忘れずに。

まだまだコロナウイルスに邪魔される日々ですが、今までの楽しみを見つけて乗り越えましょう!!



法親寺の駐車場が新設されました!!
ゆっくり歩いて、1、2分の場所です。
お寺に来てくれる方が増えると良いな〜
はやくなくされコロナ〜



地図の番号

- ① 隣接駐車場
- ② 新設駐車場
- ③ 臨時駐車場

駐車可能台数

- 10台 程度
- 20台 程度
- 6台 程度

① 隣接駐車場



② 新設駐車場



③ 臨時駐車場



火災・火災対策の工夫
火災無常の世界は
ようすのことみなもって
そらごと、たゞごと、まことあるなまに
ただ念佛のみぞ、まことにおほきす
親鸞聖人(歎異抄後序)

わたくしどもはあらゆる煩惱をそなえた凡夫
であり、この世に依然とさかる家のようにたら
まことにややかわる世界であつて、すべては
むなくいっかりて眞実といえるもの(何一つ
ない)。その中にあって、なた(阿弥陀如來の
本願)の念佛だけが眞実なのである。
歎異抄(現代語訳版)

欲やねたみそねみなど、煩惱だらけの存在を凡夫と言います。

そして凡夫の住む世界は火の付いた家のようで不安で恐ろしく仕方ありません。

そんな中阿弥陀様のみが眞実だと親鸞聖人は歎異抄でお言葉を述べられています。

昔は行きたい場所へ行くために人に尋ね、地図を開いて目的地まで行きましたが、今はナビが目的地まで連れて行ってくれますので、人に道を聞くくなくても良くなりました。

このように人と人との交わりを必要としない社会になりました。

そしてこの度のコロナウイルス感染症の流行が社会の変化に拍車をかけました。

リモートワーク、リモート飲み会やリモート帰省など離れていてもパソコンやスマートフォンを使って遠隔で仕事や飲み会、帰省を行なう新しい生活様式が生まれました。またここまで来たのかと将来を危惧しますがパソコン上

で法要を行なうネット供養やスマートフォンの画面上で葬儀に参列するインターネット葬儀が多くのまで出てきました。

人間の結集により一見社会は便利になりましたが、便利とは裏腹にいい意味でやうつ病、自殺など、じの問題が益々深刻な社会問題になっています。正に人間の限界と戸惑ざるを得ません。

念佛のみが眞実であるとの聖人のお言葉を体で見捨てはしないと抱きとめて下さる阿弥陀如來の本願を拠り所に人生本質の問題を解決ていきましょう。



食欲の夏から食欲の秋が到来、釋里蓮です(ご)

まだまだ暑い日が続きますが、体調はいかがですか?
涼しくなってきてても続く、夏バテのような体の不調を、秋バテ

といううです。秋から冬にかけて、少しずつ暑さが和らぎ、空気と共に体の中も乾燥しやすい時期に入ります。

今回は、そんな秋にピッタリの食材をご紹介します★

・クコの実(枸杞子)

杏仁豆腐の上に乗っているアレです♪

それ以外で見かけることは、あまりないかもしれません。

スーパーで手に入り、実はスーパーでなくて注目の凄い食材!
食べる野菜ともいわれ、目の疲れや乾燥に良いとされます。

タンパク質・抗酸化物質・必須アミノ酸・20種類以上のビタミン・ミネラルが含まれており、血糖値や血圧上昇の抑制・美白やアンチエイジングの交差点もあります。

★1日10粒~20粒程度が目安。

持病がある方、妊娠中・授乳中の方は医師に相談を。

・山芋(山薺)

身近な食材ゆえに、栄養価にはあまり注目されないかもしれません。今の季節にピッタリの食材です♪

疲労回復・滋養強壮・高血圧の予防、また、胃腸の働きを良くし、全体的に潤いを与えてくれます。

治りづらい咳、肌や髪の老化防止にも効果的。

里蓮のひとことメモ

クコの実も山芋も熱に弱いので、煮すぎないように。
土鍋で作ると、熱がゆっくり伝わり、美味しい仕上がり。

～秋バテに!疲労回復トロ粥～

- 材料>(2人前)
- ・ささみ…1本
 - ・干し椎茸…1本
 - ・クコの実…20粒
 - ・炊いたご飯…茶碗1杯
 - ・山芋…2cm程度(すりおろす)
 - ・水…400ml
 - ・刻みネギ…好みで
 - ★酒…大さじ2 ★めんつゆ(4倍濃縮)…大さじ1.5
 - ★塩…好みで ★鶏がらスープ…小さじ1

- ①干し椎茸(辰巳汁を使用)とクコの実は別容器で30分程水に浸けて戻しておきます。
②レンジで1分加熱したささみを細かめにさきます。
③鍋にご飯・水・椎茸の戻し汁・ささみ・スライスした干し椎茸・★を全て加えて火にかけます。

- ④たまに混ぜながら15分程煮込んだら、クコの実を入れ、味をみて塩を足してください。

- ⑤上に山芋と刻みネギをのせ、ひんやりさせたら完成!

とろみがあり、ほっこり優しい味で、食欲がない時でも食べられますよ(^^)

最近は手軽にサプリメントやドリンクで足りない栄養を補うことができます。しかし、それに頼りすぎず、できるだけ食事から、体に良い物を摂り入れたいですね(^^)
しっかり食べて、秋バテ知らずの体を作りましょう。

お知らせ

- ★11月3日の代替法座は、コロナウイルス感染予防の為、一般参拝を中止し、法要は寺族のみで行います。
- ★住職が岡山南組組長・岡山デロック長(4年任期)に再任され、淨土真宗本願寺派兵庫教区組長会副会長に就任しました。